

YFN 2011「神様を有名にしよう！」 「Amplified！」

「みことばを宣べ伝えなさい。時が良くても悪くてもしっかりやりなさい。寛容を尽くし、絶えず教えながら、責め、戒め、また勧めなさい。」
2テモテ4章2節



札幌駅前通地下歩行空間の北3条広場で募金を呼びかける。



CFNJ NEWS

クライスト・フォー・ザ・ネイションズ・ジャパン聖書学院 2011. 6・7月号 No.143

日本と中国による 21世紀の世界宣教

ラブ・アジア・ミッション代表。宣教師
竹内 宣雄師



I 宣教の情熱

1、宣教の使命

■救い主イエスキリストは十字架において、救いの御業を成し遂げられました。死より復活された後、弟子たちに「**全世界に出て行き、すべての造られた者に、福音を宣べ伝えなさい。**」(マルコ 16:15)と言われ、福音伝達の使命を弟子たちに託され、天に昇っていかれました。

今日、私たちのところに福音が届けられているのは、弟子たちから始まったこの福音伝達の使命が山を越え、海を越え、国を越え、民族を越え、言語を越えて次から次へバトンタッチされていった結果です。このことを考える時、私たちは情熱をもって、まだ福音が伝わっていないところに出てゆき宣教し、この使命を次の地域の方々、次の世代の方々に託してゆかなければならないと信じます。そうするならば、この主から託された「大宣教命令」は必ず達成できるのです。

2、海外宣教と世界宣教

■日本は四方を海で囲まれているので、海外で伝道することを海外宣教と言いますが、最近よく「世界宣教」という言葉を使うようになりました。海外宣教と言いますと、宣教の担当を国外と国内に分けてしまい、それが断絶されたようなものであるという考えを助長してしまいます。しかし、「世界宣教」という言葉を使うならば、国内外を問わず全ての地域は世界の一部となり、地域は異なりますが、同じように福音が伝えられていることが分かります。また、それは地域だけではなく、政界、財界、教育界、芸能界などという社会も世界の一部です。私たちは主からいただいている、異なった賜物を用い、「全世界」に出てゆきましょう。

II 中国宣教の重要性

1、中国には 13 億以上の人口があり、それは世界人口の1 /5を占めます。 この世界最多の国民の中に素晴らしいリバイバルを起こしておられますが、それは地域的であり、まだまだ多くの人たちは福音を聞いていません。

2、現在、中国の経済はものすごい勢いで成長しています。 しかし、この急激な経済成長は激しい環境破壊を招いています。いろいろな規制を設けていますが、功を奏していません。なぜならこれらの問題の根底には、人間のエゴ、罪があるからです。その根本的な問題が解決しないならば、この環境破壊は人類に大きな悪影響を及ぼします。

3、日本人は外見上、文化上、中国人と共通点は多く、非常に有利です。 しかし、歴史において不幸な出来事がたくさんあり、その問題を解決しなければなりません。福音的ODA、すなわち、O～お互いに救いあい、D～伝道を通して、A愛を実践する未来志向の関係を構築してゆく必要があります。

4、中国家の教会はこの 10 年で大きく変化しており、彼らの必要も大きく変わってきています。 これからの中国宣教は、ただ聖書や信仰書を中国に運び入れるだけでなく、弟子訓練や働き人を派遣することに対するサポートが必要になってきています。

III 「バック・トゥ・エルサレム運動」について

1、バック・トゥ・エルサレム運動とは日本・中国と中東を結ぶシルクロード、そのシルクロード沿いの国々に宣教

し、教会を生み出し、もう一度福音をエルサレムに届けることを目的として宣教運動のことです。

2、歴史的に見ると福音の伝播は、地球をおおむね西回りで進んできたことが分かります。すなわち、エルサレム・ユダヤ・サマリヤ→ヨーロッパ→アメリカ→アジアと伝わってきました。あとアジアからエルサレムまで伝わるならば、世界を福音が一周することになります。バック・トゥ・エルサレム運動は極東にある日本が中国・韓国と協力し、残されているアジアからエルサレムの地域に宣教しようというものです。

3、北緯 10 度から 40 度にまたがる地域には世界人口 2/3、約 40 億の人々が住んでいますが、宣教が非常に困難な地域です。この地域のことを「10/40の窓」と呼びます。バック・トゥ・エルサレム運動でシルクロード沿いの地域に宣教するならば、この「10/40 の窓」の多くの国々をカバーすることができます。

4、主なる神は、この運動に対するビジョンを 1920 年ごろすでに中国の教会に与えておられましたが、今も主なる神は中国の教会を用いて働いています。現在、中国には 1 億人以上のクリスチャンがおり、そのクリスチャンは迫害、試練を通して鍛えられた信仰をもっています。彼らが「10/40 の窓」に出て行くならば、多くの未伝地、未伝部族に福音が宣べ伝えられます。しかし、中国の教会は経済的能力、異文化宣教に対する理解、世界における信用度においてまだまだ十分ではありません。

5、日本の教会はアメリカ、韓国、中国と教会と違います。主なる神は日本の教会に対してユニークな歴史、賜物、使命などを与えておられます。日本固有の文化、平和や謙遜を愛する心、秩序を重んじる精神、大きなものをもっと性能よくコンパクトにする能力、世界中での日本製品に対する信頼度など。もし、中国の教会が日本の教会とパートナーシップをしっかりと取り、タッグを組んで出てゆくならば、バック・トゥ・エルサレムはなり、「10/40 の窓」の地域に福音は満たされ、大宣教命令は達成されます。

III ラブ・アジア・ミッションについて

1、ラブ・アジア・ミッション」は、シルクロードの最終点である日本が中国の教会と協力してバック・トゥ・エルサレム運動を推進するため

に、5 年前に設立された宣教団体です。 その活動は三方面に亘っています。

- ①中国国内における弟子育成セミナーを開設すること。**
- ②在日中国人留学生への伝道。**
- ③ウイグル宣教です。**

2、中国内における弟子訓練セミナーの開催

中国には以前から政府公認の教会と非公認の家の教会がありますが、最近その他に都市型の新しい教会（第三の教会）が生まれています。その教会は大学生や若いビジネスパーソンが集い、自分の学校やオフィスなどで集会をもちます。私たちはその若者たちのために弟子訓練セミナーを開いています。5 年間で約 20 回、いろいろなところで開催し、中国からイスラム圏に派遣する人材を養成しています。

3、現在約 8 万人の中国からの留学生が日本で勉強しています。

彼らは非常に優秀な学生で、日本留学を終え帰国するならば、各界のリーダー的な存在になってゆきます。何よりも中国語を学ぶ必要がなく、文化適応に対しても問題がありません。在学中に主イエスに対する信仰と宣教に対するコミットメントさえあれば、素晴らしい宣教師となって母国中国に帰ります。留学生伝道は日本の教会が日本においてできる素晴らしい異文化宣教です。

4、新疆ウイグル自治区は中国の領土でありながら、イスラム教徒が大多数を占める地域です。そしてそれより西方は、イスラム圏が広がっており、ウイグル宣教はイスラム宣教の窓口だと信じています。

私たちは全世界にいる 13 億人のイスラム宣教をこの地から始めてゆきたいと思っています。

IV 結語

■日本にはまだ他の国で見られるような、目の見張るリバイバルはまだ起こっていません。しかし、主なる神は日本に素晴らしい計画と使命をもっておられます。それはこの 21 世紀において大宣教命令を達成するリレーアンカーとして残しておられるということです。日本の教会はいままで緒外国から多くの祝福を受けてきました。今こそ日本の教会が世界宣教に立ち上がる時が来ているのです。■



CFNJ 聖書学院 新入生の紹介

■4月11日(月)午前9時より、学院にて第28期の入学式が執り行われました。メキシコから学院の理事長であるロドルフォ・ガルサ夫妻が駆けつけ、この日あらたに1・2年コースに14名の新入生とアルプスコースに4名の転入生が学びをスタートしました。これからの学院生活の為に祈りをよしくおねがいたします。



1・2年コース

■主の御名をほめたたえます!たくさんの方々の祈りによって僕は学院に導かれました。感謝の気持ちを忘れず、日々祈り、学んでいきたいです。『あなたの道を主にゆだねよ。主に信頼せよ。主が成し遂げてくださる。』

杉浦 義也 (神奈川県)



1・2年コース

■深みに漕ぎ出しなさい。この御言葉を与えられ、2年越しの祈りによって夫婦で入学することができました。共に学べる恵みを心から感謝します。天国にいるような素晴らしい日々をENJOYしたいです。

杉浦 みちる (神奈川県)



1・2年コース

■私はこの学院に入学するのを5年前から待ち望んでいました。また、神様の導きも今深く感じています。ここに来た事は偶然ではなく必然であると信じています。ですから、この学院で沢山の学びや交わりを通して神様の御心を知っていききたいです。

大久保 望信 (青森県)



1・2年コース

■ハレルヤ!!!この学院で主に仕え、学べることを心から神に感謝します。これから、神の武具を身につけてキリストの兵士としてしっかりと立っていききたいです。

竹内 聡 (長野県)



1・2年コース

■神さまの導きで、CFNJ 聖書学院に入ることができました。1年間、沢山のことを学んで、苦手な早起きも、掃除もしっかりやっていきたいと思います。

グドール 愛希 (北海道)



1・2年コース

■神様の導きの中でこの学院に入学できたこと、心から感謝します。入学式で先生方に祈っていただけでこれも感激でした。母が東京から来て、出席してくれたことも感謝でした。これからは家族の救いを祈っていきます。

早川 友子 (東京都)



1・2年コース

■本当に主の導きで、このCFNJ 聖書学院に入学できたことを、心から感謝します。すでに一週間が経ち、霊的に熱く燃やされる授業に驚きつつも、3年間の学びへの期待でいっぱいです。元気に、明るく、学んでいきたいと思います!

福島 牧 (長野県)



1・2年コース

■主の御名を賛美します。神様の不思議な招きによりCFNJで学びをスタートすることになりました。苦手な掃除により精神面や生活面でも鍛えられそうですし、1回1回の講義も充実して興味深いものでこれから期待でいっぱいです!イエス様と一緒に成長していきま〜す!!

松本 こそえ (兵庫県)



1・2年コース

■神様の恵みでCFNJ 聖書学院に入学することができました。素晴らしい学びの場に導いてくれた神様に感謝しています。CFNJでは神様と共に沢山のことを学びたいと願っています。

山岸 まりや (神奈川県)



1・2年コース

■「聖霊」にただただ浸りたいと、神の導きに従ってこの学院に入学しました。イエスの十字架の足元に日常のすべての罪と重荷を置き、ただイエスだけを見上げて時を過ごしたいと思えます。人生でこの時を神がプレゼントしてくださったことに感謝します。

石橋 真由美 (北海道)



1・2年コース

■何故か、ここにくる前に健康診断を二回ほど受けました。一年目は肺癌の疑い、二年目はS状結腸ポリープの削除。死を意識する出来事でしたが、主の憐れみにより健康を取り戻し神学校に望む事ができます。感謝。

田中 政人 (福島県)



1・2年コース

■この度CFNJで学ぶチャンスをくださった神様をほめたたえます!最高の環境と素晴らしい先生方、スタッフの方達、新しい仲間を感謝します。この恵みを無駄にしないよう、毎日を大切に生きていきます。

高橋 泉 (福島県)



1・2年コース

■ハレルヤー!神さま感謝します。哲学する心を信仰へ。苦悩を喜びへ。おそれる心を愛へ。神さま感謝します。I Love Jesus. Thank you Jesus.

金子 雄亮 (福島県)



1・2年コース

■ハレルヤ!感謝します。素晴らしい主の御手の中でこの学院に導かれ、学びを通して、イエス様を更に知ることが出来る恵みに心から感謝し、主に期待して歩んで行きたいと願っています。

戸田 真理子 (福島県)



アルプスコース

■ハレルヤ!主の御名を賛美します。神様から「私の為に人生を使いなさい」と言われた時から祝福が追いかけているように感じます。このアルプスの授業を通して、もっともっと主を体験していきたい。思っています。

吉野 雄志 (熊本県)



アルプスコース

■今回アルプスに入学出来たのは、主の恵み以外なものでもありません。このアルプスの学びを通して主に仕えて行くために必要な事を学んでいきたいと思えます。また同時に主の恵みを受け取っていききたいと思えます。

長谷川 雄一 (北海道)



アルプスコース

■アルプスコースに来ていることが、信じられない恵みです。空の器に主のあふれる愛を受けて、愛の器になりたいです。ただただ、全てを主に委ねます。この学びの中、次なるステップへと導かれることを期待します。

平石 有紀子 (兵庫県)



アルプスコース

■ハレルヤ!私は山登りが好きで、以前、台湾にいたときはよく山登りをしました。山に入ると一週間以上山の中にいました。しかし、今回は日本に来てから初めての登山です。その山の名前はALPSです。一年間、学院生と一緒にこの山に登りながら主を仰ぎ見ます。下山するまで、とりなしお祈り下さい。たくさんのお祈りを心から感謝します!

張 瓊文 (台湾)

2011年の夏、短期の宣教学校が開校します!

「目を上げて畑を見なさい。色づいて、刈り入れるばかりになっています。」ヨハネ 4:35

授業は英語で学びます!
(日本語の通訳があります)

心よりあなたをお招きします!



ISM校長 ジョン・キャスカート

「自分よりも大きなことのために生きよう!」

今夏、開拓者を起こすためのクリスチャン訓練所である、初めてのスクール・オブ・ミッションを7週間に渡って開講出来る事をとても嬉しく思っています。CFNJ-ISMは歴史的に福音に閉ざされている国々から数時間の所に位置しています。ここでは世界中から同じ心を持った人々が、聖霊に満たされた牧師や使徒的宣教師を通して王とその御国のため、使徒的働きをするための訓練を受けます。どうぞ、この機会をとらえて、神様に成長させていただいて、神様を通して不可能を成し遂げる人となってください。あなたの人生が違いをもたらします。

神様に委ねて、
John Cascart
ジョン・キャスカート

特色・内容 「ここに、私がおります。私を遣わしてください。」イザヤ 6:8

- 世界各地のベテラン宣教師や牧師が登壇します。
- 様々な文化の人々との出会いがあります。
- 地域(札幌周辺)の教会で仕えるチャンスあります。
- 毎朝のワーシップタイム。
- 伝道アウトリーチに参加。
- 大震災の被災地に行き、救援活動に加わることが出来ます。

講義内容

● 自然に超自然(御霊に満たされた生活)・Perspectives on the World Christian Movement(世界宣教の展望)・クリスチャンホームの建設・教会開拓・新しいぶどう酒のための新しい皮袋(古い習慣と文化の中で神のために新しい事をする)・キリストのためにメディアを用いる・証しとしての倫理と品性(上記の他、多くの講義を予定しています)。

期間・費用 詳しくは cfnjism.wordpress.com

● 期間 / 2011年 7月11日(月)~8月26日(金)

● 費用 /

授業料 (単価は円)	全期間	1ヶ月	1週間	1時間
授業料	56,000	32,000	8,000	800
宿泊費	54,000	28,000	14,000	2,000
食費 (平日昼・夕食分)	28,000	16,000	4,000	800

(授業は、週単位、ゲスト単位の授業、1日単位など、個別に学ぶ事が出来ます。詳しくは日本事務局までお問い合わせください。)

ISM授業スケジュール予定

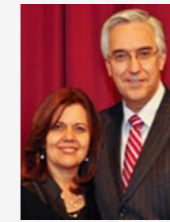
月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
● 1時間目/クリスチャンホームの建設 ウィルム&オータム・パーソンズ ● 2・3時間目/ゲスト・スピーカー ● 夜(7~9時) / Perspectives(世界宣教の展望)	● 1時間目/賛美と礼拝 岡田留美子 ● 2・3時間目/ゲスト・スピーカー ● 夜/フリー/宿題/ゲームナイト	● 1時間目/有名宣教師の生涯 グドール・ジェラルド ● 2・3時間目/ゲスト・スピーカー ● 午後(3~4時) / ESL(第二言語としての英語) JSL(第二言語としての日本語)クラス ● 夜(7~9時) / ゲスト・スピーカー	● 1時間目/未定 ● 2・3時間目/ゲスト・スピーカー ● 夜(7~9時) / Perspectives(世界宣教の展望)	● 1時間目/キリストのためにメディアを用いる ジョセフ・キャスカート ● 2・3時間目/エリヤとエリシャ(宣教師の心) ジェリー・ジャンセン ● 夜/地域教会の祈り会に出席	● 午後(5~6時) / 祈り会 ● 午後(6~8時) / 路傍伝道	地域教会に出席

ゲスト・スピーカーと講義内容

- 第1週(7/11~15) / チャールズ・J・グリコ師 「クリスチャン品性と弟子訓練による証し」
- 第2週(7/19~22) / ニコライ・ポリャコフ師 「教会開拓」(7/18は休日)
- 第3週(7/25~29) / 木谷直也師 「礼拝」と ジョン・マーサー師 「未定」
- 第4週(8/1~5) / ジャレッド・ブライアント師 「新しいぶどう酒のための新しい革袋」
- 第5週(8/8~12) / ビル・パーソンズ師 「リバウンド-神の国のための人となる」
- 第6週(8/15~19) / アン・ウィルソン師 「弟子訓練と東日本大震災被災地救援活動」の週
仙台の拡大宣教師学院を拠点に活動予定
- 第7週(8/22~26) / ロドルフォ・ガルサ師 「自然に超自然」(御霊に満たされた生活)

● 毎週新しいゲスト講師の先生が一週間を通して教え、それと共に専任講師が7週間を通して教えます。授業は英語で教えられ、日本語への通訳があります。

講師陣 (下記の講師以外も登壇します。尚、講師の都合により授業が変更になることがあります。詳しくは事務局までお問い合わせください。)



Rodolfo Garza
ロドルフォ・ガルサ

■ アミスタッド・デ・モントレー教会・エピセンター聖書学院創設者。世界各地の15の教会の監督。



Charles Gyurko
チャールズ・J・グリコ

■ CFNJ 聖書学院創設者。アジアの人々への愛がふれる人。



Jerry Jantzen
ジェリー・ジャンセン

■ 宣教師として来日23年。ICF教会牧師。しるしと不思議の伴う伝道・牧会で教会が着実に成長。札幌の教会の他に北海道に四つの枝教会がある。



Ann Wilson
アン・ウィルソン

■ ニューゼaland生まれ。アイダホ州で18年間牧会者、救命士、また救命士の教師として働く。



Nikolai Poliakov
ニコライ・ポリャコフ

■ ウクライナ生まれの教会開拓者。カムチャツカ半島で22の教会を開拓。



Naoya Kitani
木谷 直也

■ アガペ・ファミリーチャーチ牧師。日本中で歌われているワーシップソングの作詞者。



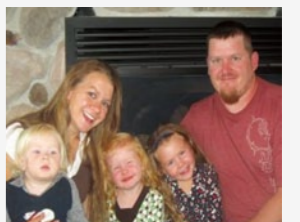
Bill Parsons
ビル・パーソンズ

■ ルイジアナ州セントラル市にて、セントラル・ワーシップ・センターを牧会。フィリピンとドイツにおいて宣教をするワールド・ミッションの理事。



Jared Bryant
ジャレッド・ブライアント

■ グローバル・ユース・ネットの責任者。米国内外でユースリーダーを訓練し育てている。今年で来日5回目。



William and Autumn Parsons
ウィリアム&オータム・パーソンズ

■ チルドレン&ユースバスターとしてモンタナ州ヘレナの教会にて6年働く。オータムさんは、モンタナ・スクール・オブ・ミッションで教えてきた。夫婦共にワーシップリードをする。

● 各講師の教える科目、時間についてはホームページでお知らせします。



「失うことのできないものを得るために、持ち続けられないものを与える人は、決して愚か者ではない。」
ジム・エリオット/宣教師・殉教者

I.S.M. クライスト・フォー・ザ・ネーションズ・ジャパン・CFNJ聖書学院
INTERNATIONAL SCHOOL OF MISSIONS
CHRIST FOR NATIONS JAPAN
インターナショナル・スクール・オブ・ミッションズ
短期国際宣教学校

- 日本事務局 / 〒061-3216 石狩市花川北6-5-157 Tel (0133)74-1341 Fax 74-1343 メール office@cfnj.com
- アメリカ事務局 / Tel (USA) (406) 495-9250 E-mail: cfnjism@yahoo.com

YFN 2011 Report!

■5月20日～22日まで、通算15回目のユースキャンプYFNが開かれ、ジャレッド・ブライアント師とCFNI 聖書学院からのアウトリーチ・チーム9名をゲストに迎えました。



札幌駅周辺-地下通路でチャリティコンサート

「主よ! 大胆に友達にイエス様の事を伝えることができますように!」



■21日(金) 夜の集会は、ジャレッド師による、サムソンとデリラの物語から「火遊びはするな!」という罪に対する鋭いメッセージがあり、参加者を悔い改めへと導きました。

■22日(土) の朝は、朝食、年齢別のグループデボーションに続き、三つの分科会がありました。分科会ではCFNIの学生三人が、ピュリティ(純潔)、アイデンティティ(自己像)、伝道というテーマで、ユースが現在直面している問題と対比しながら効果的に分かち合いました。アイデンティティの分科会で、白人の親に養子として育てられた黒人グレッグの、「神様の目から自分を見ることを覚えなければなりません」という証しが印象的でした。午後のレクリエーションでは、直径2メートルの巨大ボールで遊ぶサッカーが男子にも女子にも大人気!夜の集会では、アメリカと日本の合同賛美チームがワーシップを導きました。神様はそれを喜ばれて、とても強い臨在がありました。マタイ24章に基づいたジャレッド師のメッセージ「目を覚ませ!」に応答して参加者は全員前に出て、聖書学院生に祈ってもらいました。「主よ! 大胆に友達にイエス様の事を伝えることができますように!」今回のYFNのテーマ「Amplified 神様を有名にしよう!」のテーマに沿って、熱い祈りがささげられました。

■23日(日) は、午後4時から札幌駅前通地下歩行空間の北3条広場で、東日本大震災のためのチャリティライブが行われ、道行く札幌市民の多くの方がしばし足を止め、音楽や被災者の証しなどに耳を傾けて行きました。集められた募金84,139円は、日本赤十字社に寄付します。主に栄光! YFN2011のために祈ってください感謝します。

(文責 グドールジェラルド)



宗教法人 アジアキリスト福音宣教会・クライスト・フォー・ザ・ネーションズ日本校

CFNJ 聖書学院

〒061-3216 石狩市花川北6条5丁目157
(0133)74-1341・1342 FAX 74-1343

●HP: www.cfnj.com 郵便振替: 02780-4-4688
●e-mail: office@cfnj.com 学院長/鍛冶川利文

